

陸平通信

OKADAIRA 2020年6月1日発行
 編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
 美浦村文化財センター（陸平研究所）
 ☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
 Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 102号

古文書で脳トレ！

美浦村のお宅に残されていた古文書の中から江戸時代の年号をいくつかピックアップしてみました。まずは読んでみましょう。いろいろな年号がありますね。読めたら次に年表などを利用して西暦順に並べてみましょう。答えは今号にあります。



- | | | | | | | |
|-----------|-----------|--------------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| ⑦
正徳五年 | ⑥
元文二年 | ⑤
元禄十六年
壬子歳月 | ④
寛政五年 | ③
享保二十年 | ②
延享元年 | ①
明和六年 |
| ⑭
宝暦五年 | ⑬
安永九年 | ⑫
寛政十年 | ⑪
天明二年 | ⑩
寛延元年 | ⑨
享和二年 | ⑧
文政元年 |

陸平貝塚への車両の 進入制限のお知らせ

7月より防犯対策のため、文化財センターから陸平貝塚への車両の進入が制限されます。

車両進入制限の時間は次のとおりです。

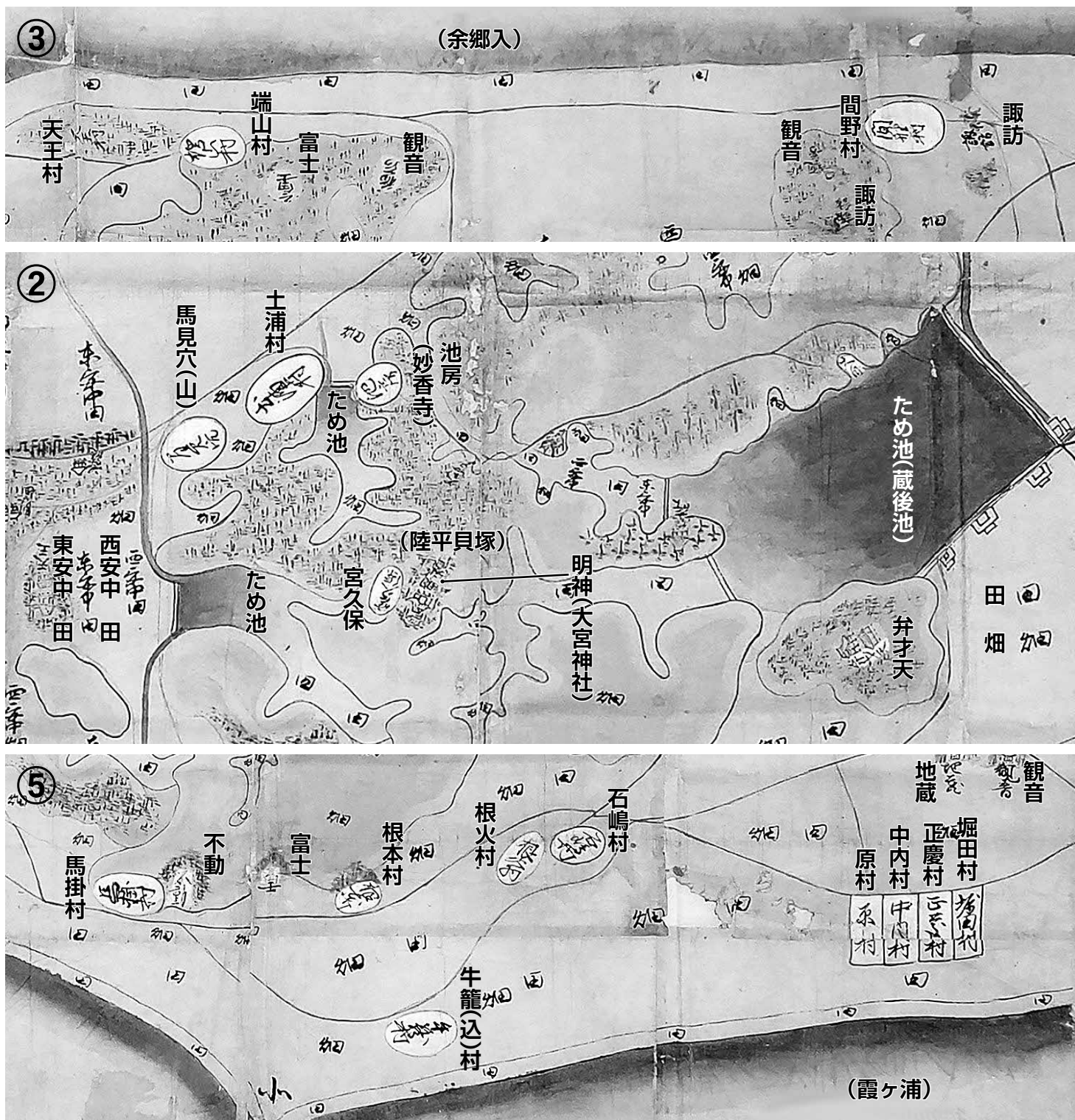
- ・午後5時～翌午前9時
- ・文化財センターの休館日（月曜日・祝日）は終日

展示室休室の お知らせ

文化財センター展示室は
改修工事のため

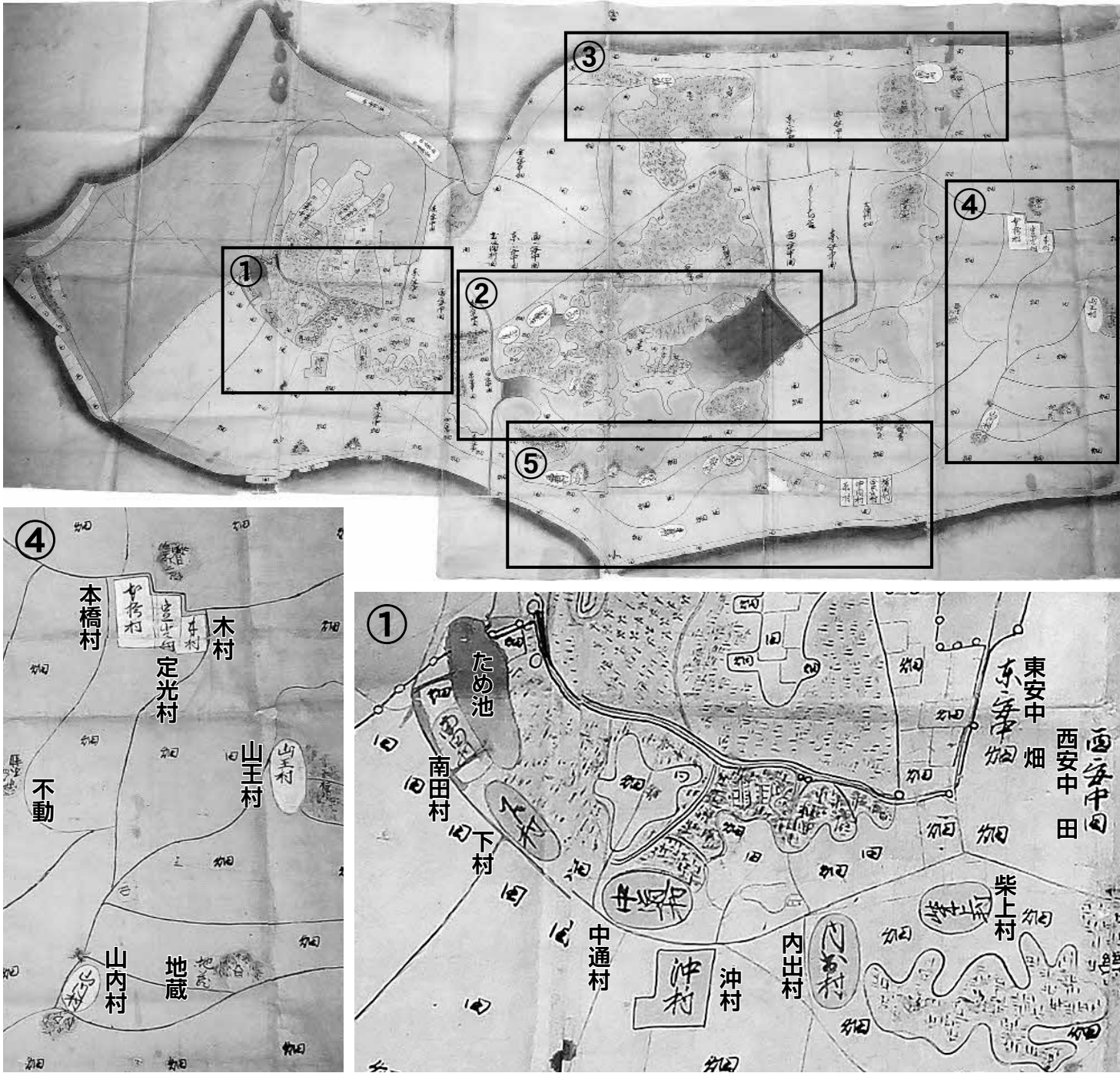
8月31日まで休室
とさせていただきます。

※現在文化財センター展示室は、新型コロナウイルス感染拡大防止・改修工事のため8月末までの予定で閉室しています。そこで今回は、一部展示替を行った資料につぎましていち早く皆様にご紹介します。



実物の絵図は横254cm、縦111cmと大きなもので、一部欠落しています(絵図の凡例や大塚・谷中の村々を描いた部分が失われていました)。絵図には彩色が施されており、山林は緑色、水面は青色、道は赤色、一番多い田畑は紙の地色のままとなっています。また村々で信仰されていた堂宇・祠(井才天・不動・観音・諏訪・富士・明神など)の姿や鎮守の森、台地上の畑や森林の広がり、ため池の堤や水門、用水路の橋なども描き込まれており、当時の村の景観が鮮やかによみがえります。

— 美浦村の歴史資料紹介 —



この資料は近年古書店で購入した村絵図と呼ばれる地図で、安中（あんじゅう）地区にあった村々の様子が記録されています。作成されたのは、安中郷 19 ケ村の入会地（いりあいち）であった大山東部での新田開発が進んでいる様子が描かれているので、江戸時代の 18 世紀中頃以降と思われます。慶長（けいちょう）年間（1596～1615 年）の検地により、中世の安中郷は「東安中」と「西安中」に分けられ、東安中は 3 ケ村（土浦・馬掛・大山）、西安中は 16 ケ村（大塚・谷中・山王・備後内・山内・堀田・八井田・中之内・正慶・根火・牛込・根本・間野・本橋・定光・木）に「村切り（むらぎり）」されました。「村切り」とは、支配・徴税の単位である独立した行政村とされることを言います。絵図を見ると、上記以外の村の名前（南田・下・中通・沖・内出・柴上・天王・石嶋・原）も見ることができます。これは現在の小字（こあざ）に残る地名で、生活の単位としての集落を示していると考えられます。今でも共同の作業や行事を行うなどのつながりがそうした集落に近い姿でしょう。

「美浦かるた」で知るみほの文化財

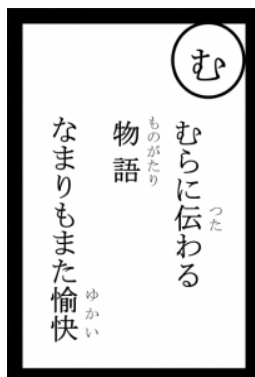
今回の札は

「む」

むらに伝わる^{つた}物語^{ものがたり} なまりもまた愉快^{ゆかい}

どこにでもいい伝えや伝説など伝承されてきた事がらがあります。美浦村にも地域の中で語り継がれてきた話や、神社やお寺に伝わる話、お地蔵さまなどのいわれとして伝えられてきた話、古文書や風土記などをもとに物語が創作されました。『ふるさと美浦の昔物語』には身近な村の歴史に興味をもつきっかけとなる話がいくつもありません。物語の登場人物は美浦村のことばで会話をしています。美浦村のことばといっても美浦村独自のことがあられるわけではありません。平成5年に村史編さん事業の中で方言(ことば)について調査をおこないました。調査では美浦村で使われている標準語とは異なる言葉を集めました。その中から美浦村独特のことばを抽出することとは非常に困難であることがわかりました。収集されたことばをみてみると美浦村は東国の方言・東北訛りに近い方言で次の

- 特徴があげられます。普段使用したり、耳にすることばで思い当たることがあるでしょうか。
- ①「イ」と「エ」の区別発音がむずかしい。
 - ②濁音ではない言葉の濁音化が多い。(例) 畑へ行くーハダケサイツテクル
 - ③詠言(なまり)が多い。
 - ④強めるための撥音(はねる音)の「ん」が多い。(例) 昼寝ーひんね
 - ⑤拗音・促音(つまる音)が多い。(例) シャベクル、ゴジャツベ
 - ⑥関東べいべいことば。(例) イクベ、ヤルベ、スルベ
 - ⑦ことばの終わりに「さ」をつける。(例) 土浦さ行つてくる
 - ⑧接語で強める。(例) ネコメ、イヌメ
 - ⑨尻上がりで早口ことば。
- 美浦村には漁師が多く、湖上で話をしたりする時、大声で話す。(※調査当時には漁業にたずさわる人が現在よりも多かったようです。)



〈引用参考文献〉
『ふるさと美浦の昔物語』平成11年 美浦村史編纂委員会
中島よしの「美浦村の方言」『美浦村史研究9号』平成6年 美浦村史編さん委員会
※右記の本は美浦村中央公民館図書室で貸し出ししているほか、文化財センターで購入できます。

美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村の魅力を紹介しているかるたです。

古文書で脳トレ! (P1) のこたえ

- | | |
|-------------------|---------------|
| ⑤元禄十五壬午歳二月(1702年) | ⑭宝暦五年(1755年) |
| ↓ | ↓ |
| ⑦正徳五年(1715年) | ①明和六丑年(1769年) |
| ↓ | ↓ |
| ③享保二十年(1735年) | ⑬安永九年(1780年) |
| ↓ | ↓ |
| ⑥元文二年(1737年) | ⑪天明三年(1783年) |
| ↓ | ↓ |
| ④寛保二年(1742年) | ⑫寛政十年(1798年) |
| ↓ | ↓ |
| ②延享四年(1747年) | ⑨享和二年(1802年) |
| ↓ | ↓ |
| ⑩寛延元年(1748年) | ⑧安政四年(1857年) |
| ↓ | |

イノシシに注意!



陸平貝塚公園内及び周辺で、イノシシの足跡等が確認されたため、陸平貝塚公園内の一部に、有害鳥獣捕獲隊による「わな」を仕掛けています。

わなの近くには、目印として注意を促す札が付けてあります。札の先や周囲には、わなが仕掛けてあり危険ですので絶対に近寄らないでください。